

越谷市制施行

KOSHIGAYA CITY 60TH ANNIVERSARY

60周年





I N D E X

第1章 越谷市 60 年のあゆみ 4

年表	6
古代	6
中世	7
近世	8
近代	9
昭和 30 年代	10
昭和 40 年代	14
昭和 50 年代	18
昭和 60 年～平成 6 年	22
平成 7 年～平成 20 年	26
平成 21 年～平成 30 年	30
越谷市 この 10 年間の変遷	34
越谷今昔物語	42
あの頃、あの時、懐かしの写真集	48

第2章 越谷の観光 58

越谷で触れる四季と“らしさ”	58
いつまでも残したい風景	64
いつまでも残したい自然	66

第3章 越谷の文化財・史跡・伝統 70

いにしへの越谷を伝える	70
越谷の伝承を歌う	74

第4章 越谷の産業 76

伝統工芸	76
農産物	84

第5章 越谷ゆかりの著名人 88

こしがやの歴史を支えた人物館	88
わたしと越谷市	92

第6章 未来の越谷 99

子どもたちの写真コーナー	99
小学生の絵画	102
中学生の作文	114

第7章 データでみる越谷 128



市制施行 60 周年

市民に愛され、 市民が誇れる越谷を目指して

越谷市長 高橋 努



越谷市は、本年、市制施行60周年という記念すべき年を迎えました。多くの河川や水路が流れる本市は、古くから「水郷こしがや」としてたくさんの方に親しまれ、江戸時代には、日光道中第三の宿場町としてもにぎわいをみせ、今も市内にその名残をとどめるなど、豊かな自然と歴史が融合したまちです。

昭和33年に「越谷市」が誕生した当時、人口4万8318人であった本市は、昭和40年以降、首都近郊のベッドタウンとして大きく変貌し、平成27年には、さらなる市民サービスの向上を目指して、県内で2番目の中核市となり、市民参加と協働によるまちづくりに鋭意取り組んでいます。

現在、本市の人口は約34万2000人で、県南東部地域の中核都市として成長を続けていますが、現在の本市の発展があるのも、先人たちの努力と熱意があつてのものであり、まちづくりに取り組まれた皆様には、心より感謝を申し上げる次第です。近年、越谷レイクタウンのまちびらきや、越谷駅東口再開発事業の完成、越谷ナンバーの交付開始など、「越谷市に住んでよかった、これからも住み続けたい」と愛着のもてる取り組みを進めてまいりましたが、今後も、将来にわたり、市民の皆様が、笑顔で、安全・安心、そして、いきいきと暮らせるまちづくりに、全力を傾注してまいります。

このたび、本市のこれまでの歩みを中心に、記念誌を発行いたしました。越谷市制施行60周年記念事業推進市民委員会の皆様をはじめ、ご協力いただきました関係皆様のご尽力に深く感謝を申し上げますとともに、この記念誌を手にとっていたいただいた皆様、今後とも、ふるさと越谷に、より一層の愛着と誇りを持っていただければ幸いに存じます。

市制施行 60 周年を祝して

越谷市議会議長 武藤 智



越谷市制施行60周年、誠におめでとうございます。この記念すべき慶事を、34万市民の皆様とともにお祝いできることを大変喜ばしく思います。

本市は昭和33年11月に市制を施行し、今年で60年になります。古くから「水郷こしがや」として親しまれており、水と緑豊かな自然環境とが調和したまちづくりが着実に進められてきました。

平成20年にまちびらきした越谷レイクタウンも、今年で年間5000万人を超える方々が訪れるなど、めざましく発展しつつあり、さらに平成27年4月には、多様化・高度化する市民のニーズにも対応し、より積極的な市政運営の実現を目指すため、県内2番目となる中核市に移行し、関東部地域の中心都市として着実に成長しております。

今日の発展の陰には、まちづくりに向けた先人たちのたゆまない努力と情熱があったからこそと考えており、ここに改めて感謝を申し上げます。そして、今後とも新しい時代にふさわしい越谷市の発展のために、一層のご協力を賜りますように念願する次第であります。市議会といたしましても、引き続き市民に開かれた議会を目指して、議会活性化の取り組みを継続的に進め、市民の負託に応えるべく更なる努力を重ねてまいる所存ですので、引き続き市民皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

このたび発行されます記念誌は、60周年を機に、今日の越谷を築かれた先人たちの偉業に思いをはせ、将来のまちづくりへの決意を新たにすうえで大変意義深いものであると考えております。編集委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます、お祝いの言葉といたします。

市民全員で市制施行 60 周年を祝う

越谷市制施行 60 周年記念事業推進市民委員会委員長 石崎 一宏



越谷市制施行60周年を心からお祝い申し上げます。

越谷市制施行60年は、市民と行政が手を取り合いながら、市の発展に向け、歩いてきた60年だと考えております。

越谷市は、交通網の発達とともに首都近郊のベッドタウンとして人口が急増し、発展を遂げてきました。特に近年では、JR武蔵野線の越谷レイクタウン駅の開業とともに、さらに人口が増加し、地域住民の連帯意識の希薄化が地域の課題となるなか、自治会やスポーツ・レクリエーション活動を通じて住民同士の交流が深められ、地域づくりが進められています。

このたび、市制施行60周年を市民全員でお祝いするため、平成29年6月に「越谷市制施行60周年記念事業推進市民委員会」を組織いたしました。市民委員会は、多くの市民やさまざまな団体と連携し、記念事業を企画・運営することを目的としています。

今回、編集発行いたしましたこの記念誌も、市民委員会の記念誌・広報部会が中心となり編集したものでございます。編集にあたりまして、市民の皆様から多くの貴重な写真をいただいたほか、市内の小学生から「未来の越谷く大好きな地域の未来の風景」を描いた絵画、中学生から「10年後の自分へ」の作文をご提供いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

結びに、越谷市のますますの発展をご祈念申し上げますとともに、この記念誌が越谷市を理解する一助となれば幸いです。